

グループ オレンジ ③	佐々木 杏奈	SI 広島-もみじ	広島文教女子大学附属高等学校
<p>今回の国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョンユースフォーラムに参加して、私は女性の強さを感じることができました。私は初めての参加でしたが、参加しなければこのような団体があることを知ることは無かったです。</p> <p>女性が不利を克服するために何をすればいいかをテーマにグループ討論をした時、学校での男女格差が話題になりました。私は女子校に通っているのですが、体育祭でのテント張りや、力仕事は全部女子だけでやらないといけないので、あまり男女格差を感じることはありませんでした。しかし、男女共学の学校に通っていたり、男子の割合の多い高専に行っている人から、男子に力でかなわないことや、女子トイレがないなど、女性が不利な場面が多くみられました。このことから私達のグループは『Action！とりあえずやってみる』をテーマに研究を進めていきました。男性に力でかなわなくても、他にも女性ができることは沢山あります。男女がお互いに理解し助け合える社会になるように、自分から周りに発信していくことが重要だと考えます。</p> <p>男女格差は、すぐに解決できることでもありません。だから、無くなるように自分から前に出て行動していかなければならないとこのフォーラムで学びました。女性同士のつながりを大切にしながら男性のことも考え社会参加していくことで、私の目指す男女共に堂々と夢を生きられる社会になればと思います。</p>			

グループ オレンジ ④	杉井 麻衣	SI 井原	興譲館高等学校
<p>今回のユースフォーラムでは「女子力アップ～女性が夢を生きるために～」というテーマのもと、私たち女子高校生が様々な視点から女子高生の立場で考えてみました。</p> <p>各グループの発表とそして私たちの意見とを照らし合わせてみると私たちなりの答えを導き出すことができました。女子力というのは、女の子らしさや外観の美しさだけではなく、その女性の生き様のように思います。自らの夢に向かい真っすぐに生きている女性こそが女子力に満ち溢れた女性ではないでしょうか。私もそのような女子力の高い、カッコいい女性、また社会で活躍する一人の女性、尊敬される一人の母親になりたいと思います。</p> <p>そして、女性が夢を生きることができる社会を目指していくために一人の女性として Action をおこしていきたいと思います。</p> <p>このフォーラムをきっかけに、女性の女性としての在り方や、男女共存について深く考えることができました。女性をとりまく多くのジェンダーに関する問題は、すぐには改善していくことは難しいですが、ここで学んだことを生かして、人々が心地よく過ごせる社会づくりに貢献していきたいと思いました。</p> <p>今回のフォーラムでは、多くの刺激を受け、多くのことを学ぶことができました。このような機会を与えてくださったこと、深く感謝いたします。ありがとうございました。</p>			

グループ オレンジ ⑤	竹縄 彩花	SI 西大寺	岡山学芸館高等学校
<p>私はこのユースフォーラムに参加するまで、自発的に行動しようとは思っても、行動に起こせなかったもので、先生にお話を頂いた時に「変われるチャンスかも」と思い、参加しました。実際に生徒会長であるだとか、AMDAのメンバーに加入して活動しているだとか、本当にすごいなと思える方たちばかりでとても良い刺激になりました。</p> <p>グループ討論でも、自発的に思いを相手に伝えるということで、上手に発言することは難しかったのですが、実体験や知識を元に討論に参加し、今まで持っていた固定観念をくつがえされ、考え方が深まり、新たな興味も出てきて、更に自分の知識や世界を広げる良いきっかけとなりました。</p> <p>各グループの発表でも、人それぞれに違う考えがあって、論題は違っても、根本的なことは同じで、色々な考えがあって、本当に面白かったです。</p> <p>私はこれから、このユースフォーラムで学んだことを生かして、色々なことに積極的に参加していこうと思います。私のグループのテーマでもあった、「とりあえずやってみる」というように、失敗を恐れずに誰かのために、そして自分のためになることをしていきたいと思います。また、男女がお互いに尊重し合い、共存できる社会をつくっていききたいです。</p> <p>今回、このフォーラムに参加したこと、本当に良かったと思います。そして参加させて頂けたこと、本当に感謝します。</p>			

グループ オレンジ ⑥	田村 萌子	SI 下松	山口県立徳山高等学校
<p>今回の活動に参加するまで「ジェンダー」についてあまり考えたことがありませんでした。ですが、同年代の高校生とともにこの問題について議論し合うことで、私の知識の幅は広がり、興味や関心も深まりました。</p> <p>私が一番印象に残っていることは、グループ討論です。お互いのことをあまり知らない中で、自分の意見を述べたり、疑問をぶつけることは、私にとってとても新鮮なことで、大きく成長できた瞬間でした。また、私と同じ高校生が、男女格差について熱心に考えていることにとても驚きました。そんな中、私は、男女格差はすぐに消えるものではなくて、お互いの特性を知り、理解し合いながら、両者の個性をいかすことが大切だということ学びました。</p> <p>ユースフォーラムに参加して、得たものはたくさんあります。ともに議論を交わし、夜遅くまで発表内容を考えたグループの仲間たちや、女性が生きることへの知識。これらの得たものは、これから生きていく上で、きっと役に立つはずです。</p> <p>これから、私は、今回味わった感動をさまざまな人に伝え、この活動に参加する女子高校生を増やしていきたいと思います。また、後輩達の模範となれるよう、「私が私らしく、女性が女性らしく生きることができる社会」を目標に、次は、キラキラ輝く日本の女性のトップリーダーを目指していきたいと思います。</p>			

グループ オレンジ ⑦	友末 真生	SI 津山	津山工業高等専門学校
<p>私は今回のユースフォーラムに参加して、多くのことを学ぶことができました。</p> <p>私たちのグループは様々な場面での男女格差について考えました。お互いの学校や、自分自身の経験をもとに、意見を交換しました。議論の中では、学校、仕事、結婚、出産など多くのテーマが出ましたが、私は夢というテーマでの議論が1番印象に残っています。</p> <p>1人が薬学の勉強するのが夢だけど、男性ばかりの職業で1歩踏み出せない、どうしたらいいのかとグループに質問しました。私たちのグループには、男の子と一緒にサッカーをしたり、将来は自衛官を目指していたりと女性が少ない環境でも夢に向かっていてる人がいました。「やらずに後悔より、やって後悔」、議論でこの言葉は私の心に大きく響きました。同年代なのに自分の夢を持ち、それに向かってまっすぐな彼女たちに感動しました。</p> <p>私の学校はまわりが男の子ばかりの学校です。普段の授業や学校生活では私は女子だかと一歩引いてしまうことがあります。女子が前に出ると男子も嫌だろうし、女子だからと批判されるのが怖かったです。だけど、夢に向かってがんばっている彼女たちを見て、自分ももっと積極的に声をあげて前に出て行こうと思いました。女子だからこそ声を出していかなければいけないんです。「Action」の精神を忘れず、私も自分の夢へ進んで行こうと思います。</p>			

グループ オレンジ ⑧	渡邊 尚子	SI 観音寺	香川県立観音寺第一高等学校
<p>女性が夢を生きることについて、私はこのユースフォーラムを通してたくさんの意見をいただき、たくさんことを学びました。</p> <p>初日は緊張していて上手く他校生と話せるかどうか不安でしたがすぐにうちとけて楽しく、そして熱く討論することができました。特に討論ではさまざまな男女格差について意見を交換しました。自分の中になかった意見や夢、それぞれの高校での現実やボランティア。1つ1つの言葉の全てがとても興味深いものでした。男女格差について女性がもっとがんばるべきだという意見をもっていた私は、他の人の格差はいい意味で割り切ることも必要といった意見がとても印象に残りました。考えたテーマの元、グループでのまとめの際、意見を1つにまとめるのは難しく夜遅くまでかかりましたが、お互いに意見を出しあって切磋琢磨することの大切さとすばらしさを知ることができました。</p> <p>また、SHS プロジェクトの話もたいへん興味深いものでした。高校生がグループをつくり、ホームページをたちあげて記事を書いていくことはたくさんの人と情報をシェアすることができ、自分の知らなかったこと、目を向けたことのなかったことに目を向けるいいきっかけになると思います。私もこのSHS プロジェクトに参加して自分の伝えたいことを発信できたらいいと思いました。</p> <p>この2日間で多くのことを学ぶことができ、とても有意義なものとなりました。ありがとうございました。</p>			

グループ オレンジ ⑨	柳瀬 耶穂	SI 室戸	高知県立室戸高等学校
<p>女子力アップ！～女性が夢を生きるために～というテーマで論文を書きましたが、私は実際このユースフォーラムに参加させていただけるとは、全く思っていませんでした。私がこのユースフォーラムのプレゼンテーションで感じたことは、2分という時間の短さです。2分という短い時間で自分の言いたいことを上手く伝えることの難しさを知りました。</p> <p>そして、グループ討論では「格差」という言葉がよく出てきたと思います。それほど、この世の中に「格差」というものがあるということにショックを受けました。しかし、よく考えてみると、男女格差というものがあるということにも気付きました。そういう格差や不利を克服したりするためには、一人一人が積極的になることや、やらなくて後悔するならやって後悔した方がいいという意見も出てきました。だから私たちのグループは、Action～とりあえずやってみる～というテーマで発表しましたが、原稿を作っていく中で私自身が気付かされることもあり、とても良い勉強になったと思います。</p> <p>今回の経験を通して、私は自分の意見を持ち、それを伝えていくことの大切さを知りました。そして、女性が夢を生きるために大切なことは、女性が少しでも不利を克服し、自分の夢に向かって真っすぐに突き進んでいくことだと思いました。このような経験の場を与えてくださったり、仲良くしていただき本当にありがとうございました。</p>			

グループ オレンジ ⑩	湯澤 鈴夏	SI 出雲	学校法人永島学園 出雲西高等学校
<p>私は、このソロプチミスト、ユースフォーラムで、2つの大切なものを得ました。</p> <p>1つ目は、日本だけでなく、まだ世界全体に残っているジェンダー、つまり、社会的性差の問題についての知識です。今まで、ジェンダーについて学ぶ機会ほとんどなく、小・中学生のときの道徳について学ぶ授業や高校生になってからの現代社会の授業などで少し話し合いがあるだけでした。そんな私がこのユースフォーラムに参加させていただくことになり、最初は不安ばかり感じていました。しかし、論文のためのインタビュー、事前に配布された資料、そして当日のプレゼンや講演、グループ討論を通して、ほんの数ヶ月の間に、たくさんを学びました。</p> <p>そして、2つ目は、真剣に討論し、お互いを高めていける、そんな仲間出会ったことです。私のグループは「Action～とりあえずやってみる～」というテーマの元、グループ発表を行いました。それぞれの意見をまとめ、発表できる形にするまでにはとても時間がかかりましたが、とても充実していました。他のグループからも、良い刺激をたくさんもらいました。もっと、他のグループの人との交流をすれば良かったと後悔するくらい、素敵なキラキラした女子高校生が集まっていたと思います。</p> <p>今日学んだことを、自分ができる最高の形で外部に発信して、もうワンステップ成長できるように頑張ります。</p>			